



やまと

—自然が生き生き、
まほろば大和—



広報

編集/〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村役場企画財政課
TEL/0997-57-2111 FAX/0997-57-2161
発行人/大和村長 永田 武光
<http://www.vill.yamato.kagoshima.jp/>

NO. **185** | 平成18年
5月号



「奄美けいんむんマンディ'06」若手唄者 (左) 前山真吾さん、(右) 中 孝介さん



YAMATO

平成18年度 施政方針の概要



大和村長
永田 武光

1 行財政運営の基本方針

多様化する村民のニーズに
応えるべく、限られた財源を
生かし、村民の福祉の増進を
図ることを理念に行政を進め
るため次の基本方針を定めま
した。

- (1) 行政改革の推進による健全
財政の確立
- (2) 地域の特性を生かした農林
水産・商工業の育成
- (3) 健康で豊かな暮らしと、充
実した高齢化社会の推進
- (4) 交通網、情報通信体系・生
活環境の整備
- (5) 人材育成や子育て支援と教
育・伝統文化の振興
- (6) 人と自然にやさしい「まほ
ろば大和」の創生

2 平成18年度予算の概要

一般会計の予算総額は、前
年度当初対比で5・5%、額
にして、1億6千46万3千

円減の、27億6千116万
円となりました。

主な内容は、歳入において
は国の「三位一体の改革」に
よる地方交付税や国庫負担金
が削減され、税制改革による
村税等の伸びがあるものの、
なお厳しい状況にあります。
国においては、今後も引き続
き改革路線を推進しているこ
とから厳しきは増すものと思
われます。昨年度に引き続き
基金繰入により歳入不足分を
補うことといたしました。

3 基本方針実現のための 主要施策

(1) 行政改革の推進による健全 財政の確立

行政事務全般における見直
しを行い、公債費負担適正化
計画に基づき、最小の経費で
最大の効果が得られるよう、
効率的な行財政運営に努力め
ます。

(歳入)

村税の適正課税と収納率の
向上による自主財源の確保と、
事業の推進にあたっては、補
助事業を優先するほか、三位
一体の改革による事務事業補
助金の動向等を注視しながら、
村債についても有利な起債を

導入し後年度負担の抑制に努
めます。

(歳出)

① 経費の節減合理化を図り、
消費的経常経費の抑制に努
め、特に人件費については、
退職職員の不補充や、特殊
勤務手当など各種手当の
見直しを行い経費削減に努
めます。

② 「大和村地域活性化定住促
進条例」に基づく諸施策を
継続実施し、引き続き人口
の増加が図られるよう推進
いたします。また、誘致企
業の国分電機は、新たに国
分電機大和株式会社として
分社独立し、工場増設を行
なっております。今後、雇
用の場ができますので、村
の中核企業として成長でき
るよう支援を検討いたしま
す。

(2) 地域の特性を生かした地場 産業の育成

① 主幹作物のスモモ、タンカ
ン、インゲン等は、土づく
りのための堆肥原料の提供、
苗木購入助成等を引き続き
行うとともに、鳥獣被害対
策として、カラス捕獲事業
を継続実施いたします。

② 各種ソフト事業による農家
の技術向上のための先進地
研修等を行い、農作業受託
班による農作業の省力化に
対応いたします。

③ 県営農地環境整備事業によ
り福元地区の土層改良、農
業用水施設、農道 舗装等

の整備を行います。

(林業の振興)

① 流域公益保全整備事業並び
に、大島南部地域林業活性
化事業を導入し育成復層林
整備と竹林改良・リュウキユ
ウシキミ造成の補助等を行
います。

② 農林作物に被害を及ぼして
いるイノシシ等の有害駆除
事業を実施いたします。

(水産振興)

① 漁業資源を確保するため、
サンゴ礁保全対策事業の実
施と、昨年4町村により漁
協が合併して発足した奄美
漁協が設置する浮漁礁事業
費に対し補助を行い水産業
の振興に努めます。

② 名音漁港漁村総合整備事業
により、防波堤を整備し港
内の静穏度を高め漁業振興
に努めます。また、新規事



業として、今里漁港漁村再
生交付金事業を導入し防波
堤や物揚場の改良を行いま
す。

③ 離島漁業の再生を図ること
と、漁場生産力の向上、海
域環境の保全・国境監視等
多面的機能の維持増進を図
るため離島漁業再生支援交
付金・推進事業を実施いた
します。

④ 大金久地区に県単市町村漁
港整備事業で突堤を整備し、
漁港としての機能を高めま
す。

(商工及び観光の振興)

① 村内の商工業は零細企業が
多く、村外消費の増加など
により厳しい状況にあるの
で、経営改善普及指導等の
ため商工会へ助成を行いま
す。商工会の今後の運営に
ついて関係機関と連携し検
討していきます。

② 青年団主催のひらとみ祭り
は大変好評でありますので、
引き続き経費の助成と開催
準備の支援を行います。

③ 奄美フォレストポリスや公
園管理の管理運営について
合理化に努めるとともに、
インターネットの活用や旅
行業社等に積極的なPR活
動を行い利用者の増加に努
めます。

④ 奄美野生生物保護センター
はマングースの駆除事業や
アマミヤマシギの保護増殖
事業等に取り組んでいます
が、「アクティブ・レンジャ

「」も配置され施設として充実して参りました。村としても、保護センター・奄美自然体験活動推進協議会等と連携し、自然保護思想の普及啓発に努めます。

⑤世界自然遺産登録を目指した「奄美共生プラン」の推進と、自然文化を学び、産業、観光、文化の総合的な振興を図るため策定した「奄美ミュージアム構想」の情報発信や人材育成を広域事務組合と連携し推進いたします。

(3) 村民の健康福祉・医療の向上(健康の増進)

①診療所をはじめ、保健所や健康づくりリーダーなど、関係機関と連携し、各種検診率の向上を図り、予防早期発見、早期治療による村民の健康増進に努めます。また、健康教育や訪問指導等を強化し、母子、高齢者等の健康づくりにも積極的に推進いたします。

②国民健康保険加入者に対する、人間ドック受診費用の助成を引き続き行います。(生活住環境の改善)

①環境保全の観点から、生活排水対策については西部地区において農業集落排水事業を継続して整備いたします。漁業集落排水事業で整備した名音地区においては供用開始に向け加入の促進を図ります。

②本年度より、新たに新聞紙

や雑誌等の古紙類の分別収集を実施し、さらに資源ごみリサイクルの促進を図り、ごみの減量化に努める外、関係機関と連携し、車両の放置防止やごみの不法投棄防止に努めます。

③ヤンバルトサカヤスデ発生地区住民には、駆除用薬品を一部有料により配布し駆除に努めるとともに、集落内害虫駆除薬剤散布を実施いたします。

④老朽化している戸田公民館を建設し、地域住民のコミュニケーション拠点施設としての整備促進を図ります。

⑤大棚地区において県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する負担を行い集落の保全を図ります。

⑥大和ダム建設促進と併せて、大和地区統合簡易水道で導水管の敷設を行います。

⑦大島地区消防組合大和分駐所に配備されている救急車



並びに高機能消防指令センター(本部設備)の機器の更新を行います。

⑧村道等の雑草除草や路面補修等を行い、村道の維持補修に努めます。(高齢者対策)

①高齢者福祉を目指す介護保険制度は、適切な介護サービスを利用しながら、在宅で自立した日常生活が送れるようにすることが当初の目的でありましたが、制度施行後施設介護の利用が多くなり、保険者負担が一層重くのしかかっている状況にあります。新たに、包括支援センターを開設し、今後の介護給付費の抑制と健康で健やかな長寿社会をめざし、レクリエーションや現在の介護予防事業を積極的に展開していくことに努めます。第3期事業計画により保険料の引き上げを行い予算編成いたしました。

②老人医療費の抑制を図るため包括支援センターや診療所などと連携を密にしながら、多受診、頻回受診者への訪問指導等を行います。

③老人クラブへ育成補助及び各種大会の援助を行い、高齢者の社会参加を支援いたします。

④施設福祉については、大和の園の備品更新や老朽化してきた施設機器等の改修を行い居住環境の改善に努めます。

(児童福祉)

①延長保育や、村単独の育児助成金を支給し、子育て支援を行います。

②保育児童数の減少している今里へき地保育所を休止し、名音へき地保育所 所に統合して施設の合理化を図ります。

(4)交通網、通信体系の整備(村道・港湾等の整備)

①村道大棚名音線改良事業を継続実施し早期完成を目指します。

②思勝港湾内静穏度を高め漁船等の安全係留を図るため、西防波堤の整備を行うとともに、東防波堤の整備に着手いたします。

(5)人材の育成と教育文化の振興(学校教育)

①過疎化と少子化に伴って、急激な減少傾向にあります。1学級あたりの児童・生徒数が極端に少ないと、学校教育が活性化されにくく、その教育効果が十分に発揮できない場合もあります。このことを解消するため、学校統廃合についての調査検討を行います。

②学力対策協議会への助成を行い、教職員の資質向上、総合的な学習時間の充実を図るとともに、児童生徒の体験活動による生きる力の育成、確かな学力の向上に努めます。

③学校図書計画的購入と、単独で学校図書司書を配置

し学校図書室の充実を図ります。

④学校管理備品等を購入し、教育設備の充実を図ります。

⑤学校並びに集落の活性化を図るため、戸田校の里親留学制度に対する助成を引き続き行います。

⑥給食センターの給食搬送車については、更新時期にあることから、新たにリースにより配置し、衛生的で安全な学校給食の推進に努めます。また搬送業務については引き続き民間委託いたします。

(生涯学習の推進)

①公民館講座を充実し、村民に親しまれ、気軽に立ち寄れるような公民館運営に努めます。

②大和っ子スクールを引き続き行い、体験活動を通じた子供たちの健全育成を推進します。

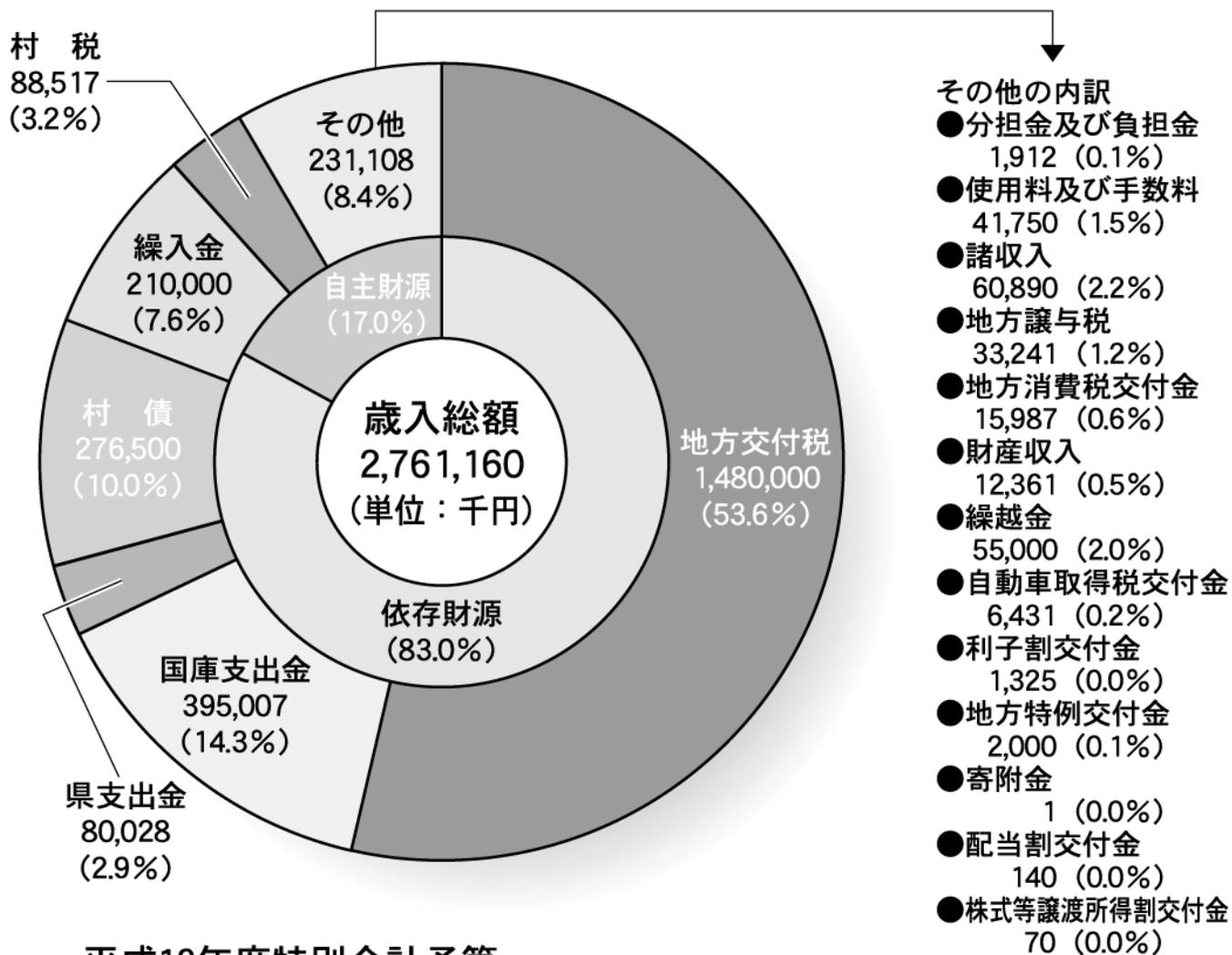
③各種団体等が自立した運営がなされるよう組織のリーダー等の育成強化を推進いたします。

④多世代の村民が参加できるスポーツ大会を継続して実施し、村民の健康増進及び競技力の向上に努めます。

以上、村政の基本である、公正・公平・均衡をモットーに、村民とともに夢を持ち、自然にやさしい、明るく豊かな「まほろば大和」の創造をめざします。

～自然と共生し，安心して 住みよい村づくりをめざして～

27億6,116万0千円



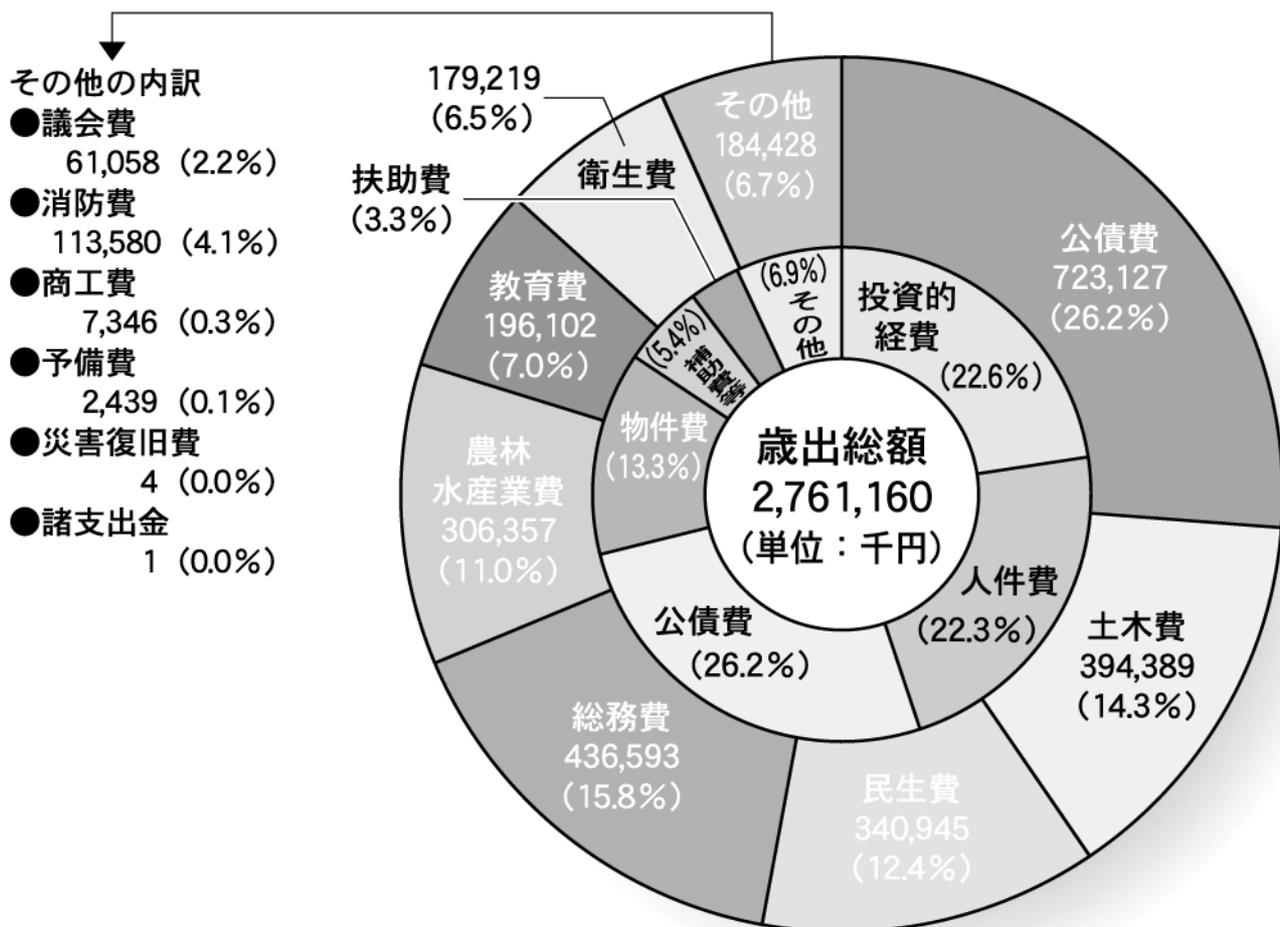
平成18年度特別会計予算

会計区分	予算額
簡易水道事業	2億 2,990万 1千円
国民健康保険	2億 6,302万 3千円
大和診療所	9,623万 9千円
老人保健	2億 2,013万 6千円
介護保険	2億 8,081万 9千円
漁業集落排水事業	279万 4千円
大和の園	1億 9,650万 8千円
農業集落排水事業	1億 3,149万 8千円



平成18年度当初予算

一般会計予算総額



- その他の内訳
- 議会費 61,058 (2.2%)
 - 消防費 113,580 (4.1%)
 - 商工費 7,346 (0.3%)
 - 予備費 2,439 (0.1%)
 - 災害復旧費 4 (0.0%)
 - 諸支出金 1 (0.0%)



奄美郷土料理教室など19教室開講

「生かすはつべん」「カラコニテヤ」イベント

18年度公民館講座 開講

村公民館講座合同開講式が、4月29日(土)村中央公民館にて行われました。今年度は、前年度より受講生が増え、自主グループ2講座を含む19教室が開講しました。

村内外から講師を招き、多彩な講座を開講。複数の講座を受講する生徒もいます。奄美郷土料理教室や島唄・陶芸などに人気が集まりました。

開講式では中山昭二館長があいさつされ、各講座の講師紹介がありました。

その後、永田武光村長が「まずは6割を目指して」など激励のあいさつをされました。

受講者はこれから1年間の学習を通して趣味の幅を広げようと目的を新たにしています。これから修了証・精勤証を目指し頑張ってください。



ようこそ大和村へ

新しい先生方のご紹介

本年度もすばらしい先生方が大和村の学校に赴任されました。子ども達や、地域の為に活躍されることを期待します。

【大和校】

- 小川 祐次 教頭
- 肥後 太由 教諭
- 永井 艶子 教諭
- 鳥入 朋恵 教諭
- 岩切 洋子 教諭

【大棚校】

- 東 和寛 校長
- 堂園 隆男 教諭
- 小原美佐緒 教諭
- 上村 俊洋 教諭
- 畠中ひとみ 養教
- 有村 昌子 事職

【戸円校】

- 有村 哲郎 教頭
- 岩元 重樹 教諭
- 川上美奈子 教諭
- 圓 拓也 教諭
- 登島 梨沙 教諭

【名音校】

- 三角 典弘 教諭
- 吉之元一也 教諭
- 豊島 愛香 講師
- 磯 宏美 事職

【今里校】

- 角 嘉昭 校長
- 毛利 綾子 教諭
- 壽 竜康 教諭
- 前村 雄一 教諭
- 吉田 雅幸 教諭
- 坂野 憲美 事職



大棚A 連続優勝 大和村ナイターソフト春季大会

12チームが参加して行われた大和村ソフトボール連盟主催の第43回大和村ナイターソフトボール春季大会が、4月17日(月)に開幕し、天気にも恵まれ予定通り24日(月)に決勝戦が行われました。

決勝の試合は、大棚Aと名音の試合となり、初回から大棚Aの猛打爆発で3回までで11点を取った。

投げては、エース今井が3回途中まで完全試合、最終回にホームランを浴びたが、落ち着いた試合運びで名音を寄せ付けなかった。

大棚Aは昨年に続き2連覇、通算28回目の優勝を飾りました。

○決勝戦 大棚A 15-1 名音

※最優秀選手賞

前田逸人選手(大棚A)

※敢闘賞

重村大剛選手(名音)



奄美けいんむんマンディ'06

南国情緒あふれる
ステージに感動

1300人以上の来場者にぎわう



南国情緒あふれるステージ



大にぎわいの会場

5月6日夜、大和村大榎石川で野外ステージ完成披露の内覧祭「奄美けいんむんマンディ'06」が開催されました。

大和村大和浜出身の浜崎哲義さんが代表を務める(株)ヘブン・プロジェクトは、「大和村に若者が集まる起業を」というスローガンを掲げ、奄美の景観を生かした映画撮影やイベント運営が事業の柱で事業名は「奄美ハナハナ」と銘打っています。

海と山に囲まれた南国情緒あふれるステージに、地元有名アーティストが出演し、子どもからお年寄りまで歌に合わせて踊るなど、会場は大にぎわいで感動に酔いしれていました。

そして夏、7月15日・16日・17日の三日間「奄美ハナハナ」が、再びイベントを開催いたします。

ご家族で、ご来場して、夏の夜を楽しんで下さい。

人間ドックのご案内

1. ドックの種類と料金

1日ドック

10,000円

2日ドック

20,000円

脳ドック

10,000円 (県立病院・徳洲会病院のみ)



2. 指定病院

県立大島病院

(1日ドック・2日ドック・脳ドック)

奄美中央病院

(1日ドック・2日ドック)

名瀬徳洲会病院

(1日ドック・2日ドック・脳ドック)

風間内科胃腸科

(1日ドック)

3. 対象者 大和村国民健康保険加入者

4. 申し込み

平成18年5月31日まで

役場税務課国保係 TEL 57-2111 (57)

(※検診日は、病院との調整で希望月と変わることがあります。)



(左) 中村瑞希さん、(右) 前山真吾さん



八月踊りの後、六調で盛り上げる若者達

伊東良吉氏表彰

伊東氏は、昭和50年4月1日に戸円分団長を拝命以来、大和村消防団副団長を、平成13年4月18日に任命され、平成17年10月31日に大和村消防団副団長を退職されるまでの間、常に団の幹部としての職責を自覚し積極的に職務遂行にあたりました。

長年、強い郷土愛護の精神から消防人としての経験をもって、部下後輩の適切な指導育成・技術向上に努め、他の模範であり多くの功績をあげられました。

この功績をたたえ、平成18年4月26日(水)、役場村長室において表彰状の授与が行われました。

おめでとうございます。



(表彰関係)

- 昭58年 県知事より非常勤消防団員10年勤続章
- 平2年 県消防協会大島支部長より15年勤続章
- 平4年 県消防協会大島支部長より功績章
- 平5年 県消防協会総裁より精績章
- 平8年 県消防協会総裁より20年勤続章
- 平8年 県消防協会総裁より功績章
- 平14年 消防庁長官表彰永年勤続功労章
- 平18年 日本消防協会より精績章
- 平18年 日本消防協会より30年勤続章

大和村事務嘱託員紹介

(任期は2年)

よろしく願います。

今里	志戸	名音	戸円	大金	大久	大和	大和	思勝	津名	湯湾	国直	集落
森島	中島	勝三	恵千	元山	前田	大崎	今田	津村	前里	大森		氏名
忠夫	直良	三千	勝也	満司	清雄	清和	忠通	謙治	俊光	光栄		静子

大和駐在所に 中島洋朗巡查 部長が着任

大和駐在所の新しいお巡りさんの中島洋朗巡查部長(38歳)が、折田巡查部長の後任として3月29日に着任されました。

鹿児島市出身で、ご家族は、さおり夫人と一男二女の五人家族です。

前任地は鹿児島南警察署で駐在所勤務は初めてで、毎日緊張しているそうです。十二年前に友人の結婚式で奄美に来たことがあるが、「人も自然も温かく、奄美は最高ですね。」と笑顔で話されました。

また、趣味はイカ釣りで休日はイカ釣りに挑戦していますが、まだ釣り上げた事がない。「今は、エサをあげているだけ、その内大物のイカを釣り上げますよ」と、話していました。

「安全で安心なまちづくりを目指していますので村民のみなさんもご協力ください」とほがらかに話していました。

駐在所にもどうぞお気軽にお立ち寄り下さい。



べんりなトンネル シリーズ No.4

大和村には、いくつものトンネルが通っています。住民の生活路線として多いに役立っています。

今号は国直トンネルを紹介しましょう。

国直トンネル

湯湾釜と国直間に、昭和59年1月に全長260mのトンネルが開通しました。



(国直側)

それまで、くねくねした坂路の狭い県道でしたが、湯湾釜と国直間が平坦になり大和小・中



(湯湾釜側)

学生の通学生は、自転車通学が出来るようになり、とても便利になりました。

「ハンセン病療養所入所者等の補償金制度」のお知らせ

●支給対象者

平成18年3月31日まで国立ハンセン病療養所等に入所されていた方

●請求期限

平成18年6月21日(水)

●その他

次の方は、請求されてもお支払いできません。

- ①既に補償金を受けられている方
- ②ハンセン病に関する裁判上の和解が成立されている方

●問い合わせ先

○厚生労働省健康局疾病対策課

TEL 03-5253-1111

(内線2369、2980)

○鹿児島県保健福祉部健康増進課

ハンセン病担当

TEL 099-286-2720

わわの おすめエッセ



大和村長寿子宝まちづくり推進會

◎かた菓子

●材料と分量の割合 (12個)

*はったい粉……………100g

白砂糖か粉末黒糖……………80g

塩……………少々(ひとつまみ)

焼酎……………大さじ3

●作り方

- ①はったい粉、白砂糖、塩を混ぜ合わせよくはったい粉になじませる。
- ②①をふるいでふるってから、焼酎を徐々に入れ固めに練って、型につめる。

*米の粉、餅米粉、きな粉で作るときも同じ要領で！

*お盆は、旧暦の7月13日、14日、15日の慣わしである。年1回、浮世婦りになさる「お精霊さま」を心こめてお迎えした、自然と共に先祖は、生活習慣から生まれた行事の日に自然に神仏に料理を供え、家中で無病息災を祈ったお盆料理としての一品です。



大和村食生活改善推進員提供

こせきの窓

(4月30日現在)
人口 1,898人
男 907人
女 991人
世帯 898戸
(推計人口)

おめでとう

平成18年3月1日から4月30日までに届けられた方です。

久保 ひなた 父 明 (津名久)
母 のぶみ

池田 栗音 父 浩二 (津名久)
母 睦美

前田 和香 父 逸人 (大棚)
母 文江

宮 那雛菜 父 慎一 (湯湾釜)
母 優美

森 心音 父 竜二郎 (津名久)
母 由佳

健やかに育ってください。

「夏福をお祈りします」

平 サエ (97) 大和浜
小池 トヨ (94) 国直
永田 モリ (95) 今里
米澤 達也 (62) 戸円

香典返しお礼

*次の方から、村社会福祉協議会へ香典返しとして、ご寄附をいただきました。

吉山美恵子(故) 小池 トヨ
永田 仲麿(故) 永田 モリ
晨原 光雄(故) 晨原 俊光

一般ご寄附お礼

関 実時 (今里)

ありがとうございました。

ご寄附お礼

※広報誌・ふるさとカレンダー送付謝礼等として次の方々からご寄附をいただきました。

関 幸蔵 一万円 (鹿児島市)
前里 静 一万円 (奄美市)

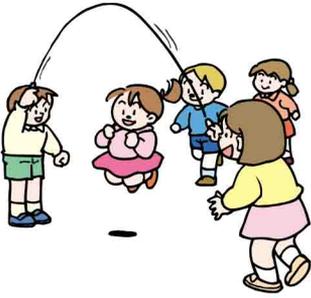
ありがとうございました。

入学式

ピカピカ1年生

4月6日に、村内各小・中学校で入学式が行われま
した。

式では、大勢の集落民や
来賓・保護者の見守る中、
緊張した表情でそれぞれの
担任の先生から名前を呼ば
れた後、校長先生や来賓の
方々からお祝いや励まし
のお言葉を頂きました。



学校	大和	分校	大棚	戸円	名音	今里	合計
小	4	2	3	2	2	4	17
中	13		5	1	6	2	27
計	17	2	8	3	8	6	44

式が終わって、保護者
等と一緒に晴れやかな服
装で記念撮影にのぞみ、
その後、担任の先生から
学校生活についてお話を
聞きました。
おめでとうございます。
*村内の入学学生は次ぎの
とおりです。

